

平成29年度 学校評価（保護者・児童）アンケート結果について

川西市立清和台南小学校

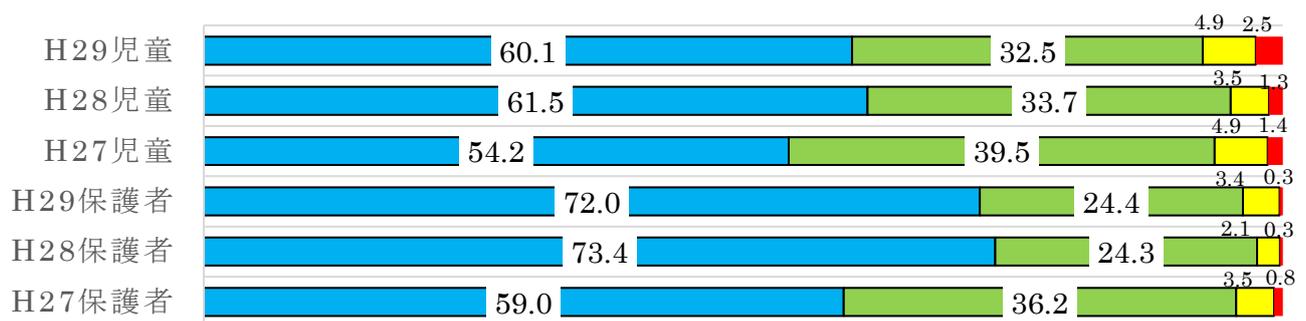
校長 石田 剛

本年度2学期末に学校評価として、清和台南小学校の教育活動についてアンケートをお願いいたしました。その結果についてご報告させていただきます。この学校評価アンケートの結果を踏まえ、本年度の教育活動に対する自己評価を行い、その内容も含めて本校学校評議員会で講評いただき、今後の教育活動に活かしていきたいと考えております。今後も、本校教育活動の推進にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

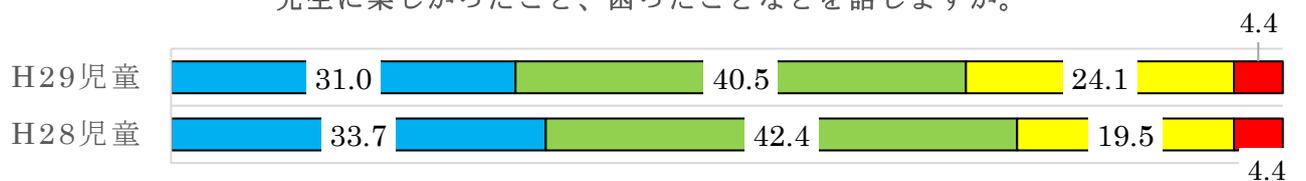
掲載されているグラフにつきましては、左から「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」「どちらかと言えばそう思わない」「そう思わない」という回答結果となっています。

【I 学校生活】

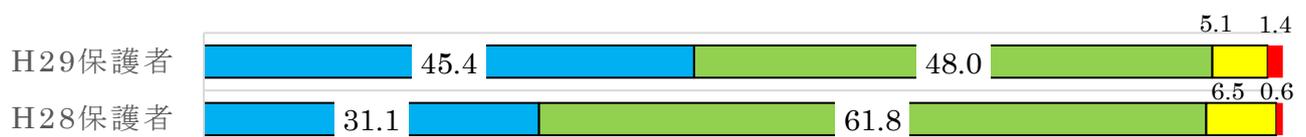
学校は楽しい・子どもは楽しく学校に通っている



先生に楽しかったこと、困ったことなどを話しますか。



学校の施設・設備は整備され、有効に活用されていますか

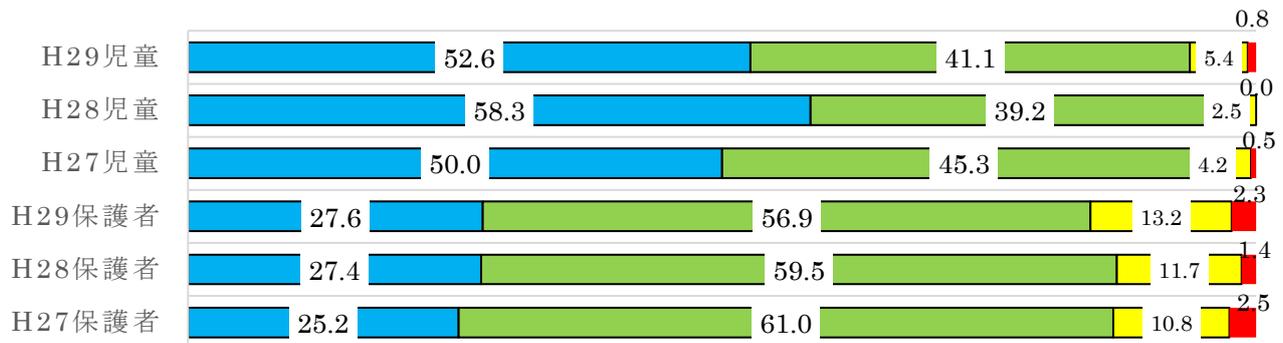


90%以上の児童・保護者が、「学校は楽しい。」「子どもは学校に楽しく通っている。」と感じているという結果が出ています。また、施設面においても、90%以上の保護者が「学校の施設・設備は整備され、有効に活用されている。」と感じています。一方で、先生に楽しかったこと、困ったことなどを話す児童が、昨年度に比べ、減っているという結果が出ています。

以上の結果から、今後、学校が楽しい場であるだけでなく、何でも相談できる場であるよう、環境づくりに努めていきたいと思えます。

【Ⅱ 学習指導】

学校の勉強はよくわかっている



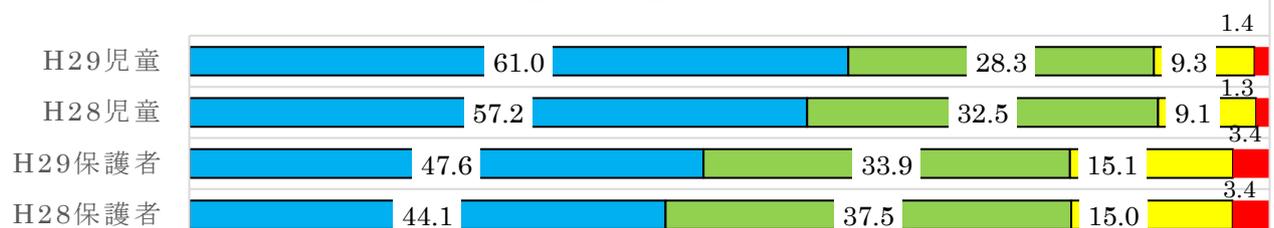
学校は、子どもたちに学力がつくように指導している



忘れ物がないように学習の準備を自分でしている



進んで宿題などをしている



本をよく読みますか



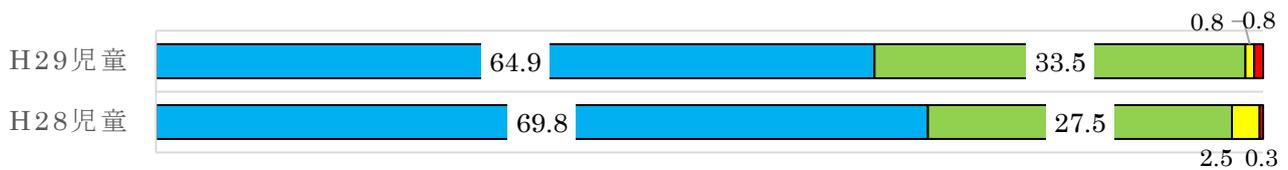
学校の勉強がわかると答えた児童は多く、概ね良好と判断します。しかし、昨年と比べると、わからない児童が少し増加しているのが気になります。ICT 機器を使用するなど、よりわかりやすい授業を行うのはもちろんのこと、わからない児童を把握し、その子に対し個別の支援を行い、家庭との連携を取りながら、学習が定着し積み上がっていくように努力する必要があると感じます。

宿題を自主的にしていると答えた児童は多く、概ね良好と判断しますが、自主的にできていないと答える児童の割合も気になります。学校では、誰もがわかる授業に努め、前よりも伸びたところなどを励ましたり、褒めたりすることで、児童も自信をもって問題に取り組めると考えます。また、生活リズムを整え宿題を習慣化することが大切であると思います。

本を読む児童は増えてきています。朝の読書タイムや図書の時間で本を読む機会が増え、親しみを持つ児童が多くなってきています。本をあまり読まない児童については、読書紹介などの活動を今後一層進めていきたいと考えています。家庭でも、本を手にする機会をたくさん持っていただきますようよろしくお願いいたします。

【Ⅲ 人権教育】

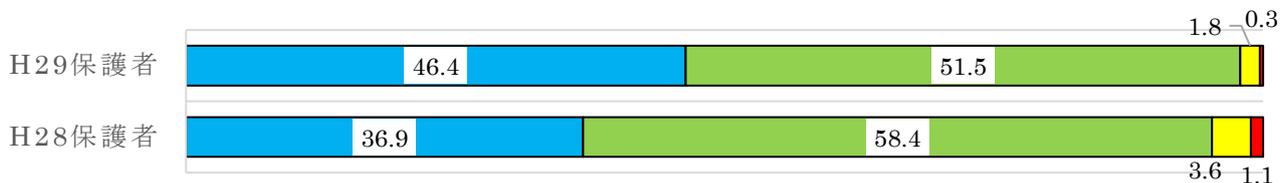
友だちを大切にしていますか



子どもは、周りの人に思いやりや感謝の心を持って接している



学校は、やさしさとおもいやりのある子どもを育てようとしている



昨年度同様、各学期に「ハートハッピー週間」を設け、「違いを認め合う」ことや「自分や友だちの良さを知り肯定的に受け止める」ことを意識した人権学習を行いました。また、各委員会や給食等でハートハッピーならではの活動を行ったり校内の掲示板を利用したりして、児童・教職員ともに人権意識の向上を目指し、取り組みました。その結果、【6】友だちを大切にしているについては、98%の児童がAまたはBと回答していて、取り組みの成果がうかがえます。また、【10】学校は思いやりのある子どもを育てようとしているについても、97%の保護者の方が、AまたはBと回答されていて、啓発活動の効果がうかがえます。

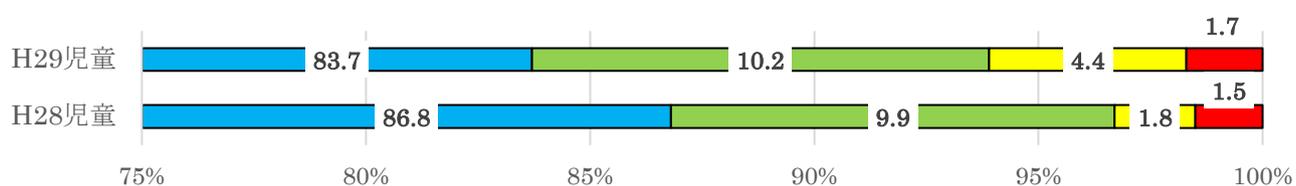
その一方、【3】子どもは思いやりや感謝の心を持って接しているについては、14%の方が、C または D と回答されており、外部へ向けての人権意識がまだ十分ではないと感じられております。学校では、引き続き授業の中で人権を意識した学習を行い、児童が周りの人を思いやることのできる環境づくりに努めていきたいと思っております。

【IV 健康管理】

毎日、排便していますか



朝ごはんを食べていますか



早寝早起きをしていますか



子どもは規則正しい生活をしている

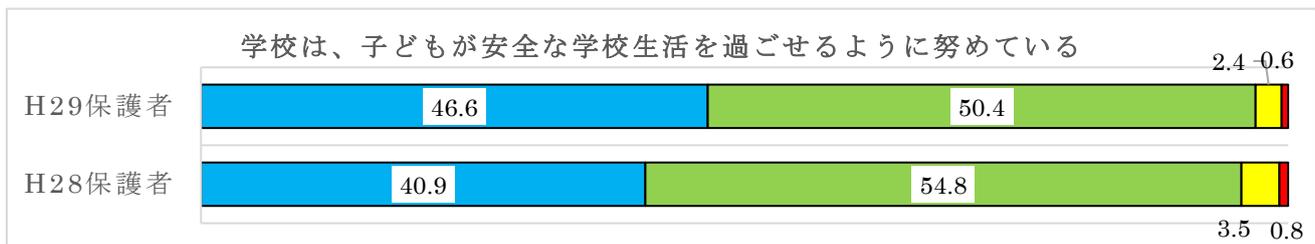
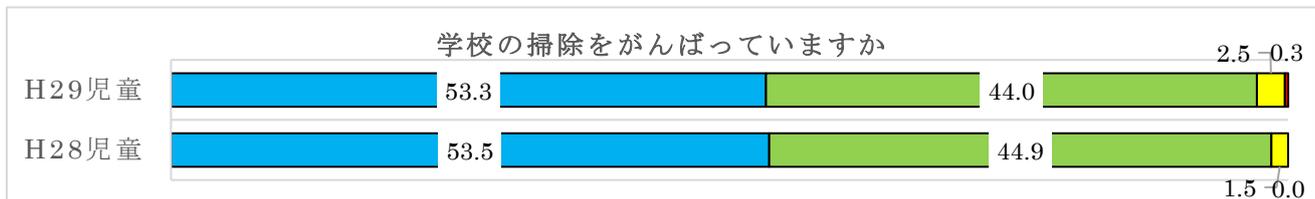
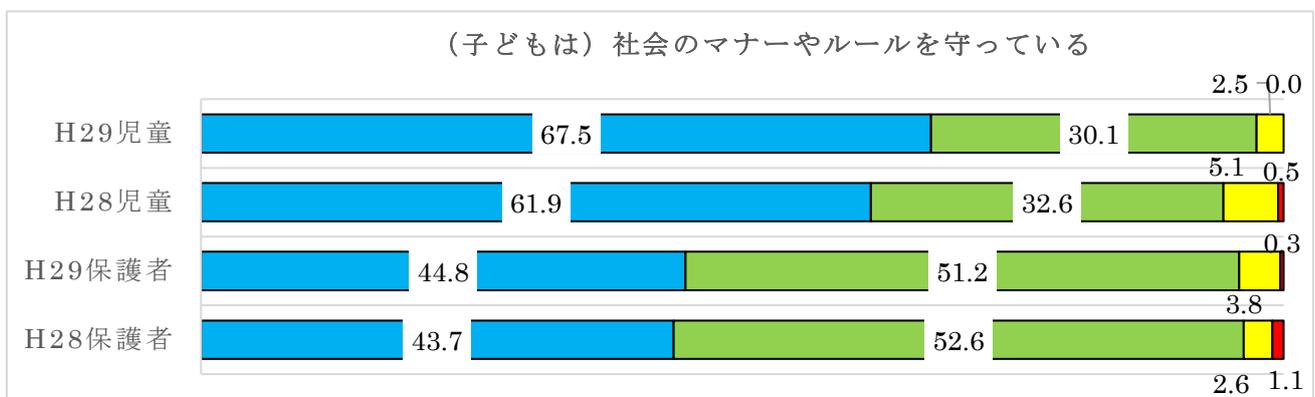
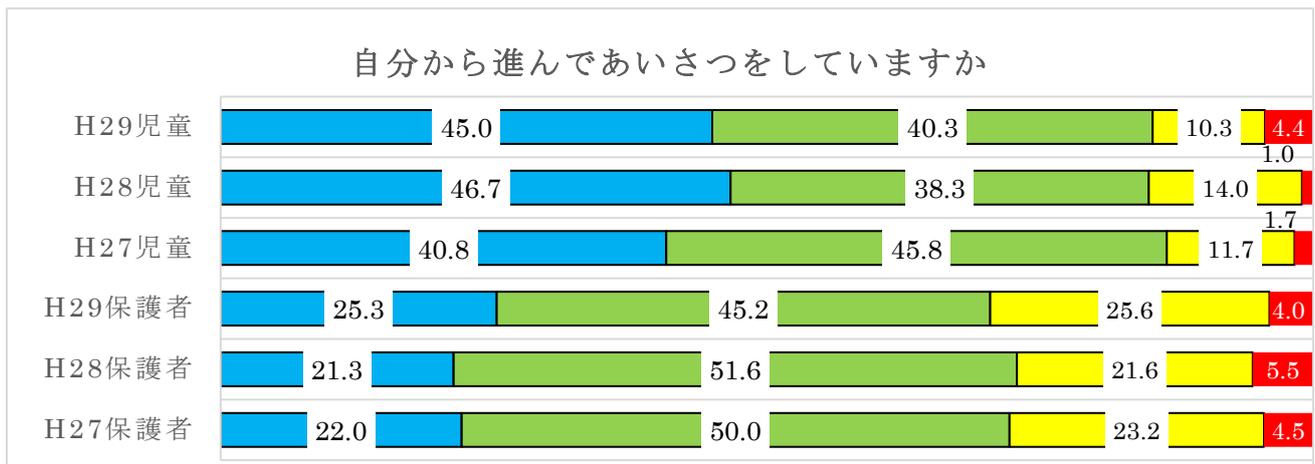


学校は体力づくり・健康の保持について指導している



毎日の規則正しい生活習慣や朝食の摂取については、概ねできていると思われませんが、一部で、夜遅い時間のテレビやゲームが原因で、就寝時間が遅くなっている傾向があるように思われます。発達段階にあった睡眠時間の確保も、心身の成長にとって大事な要素となりますので、ご家庭の協力を得ながら、学校でも引き続き指導していきたいと思っております。

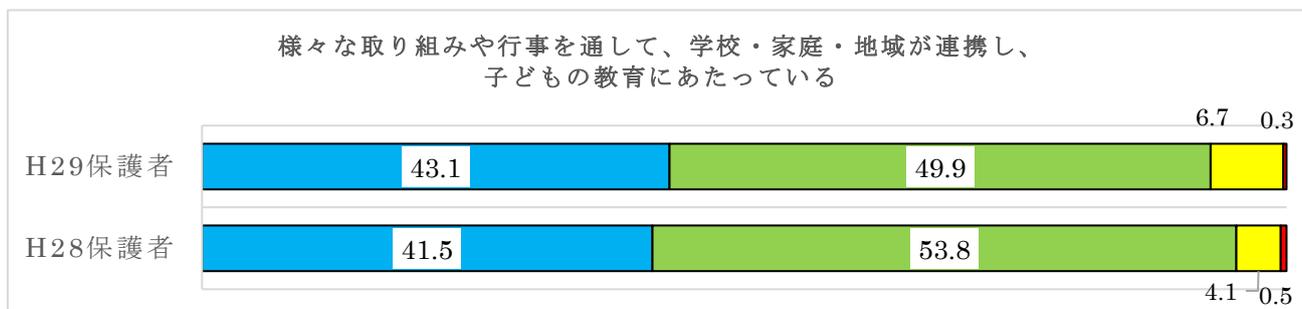
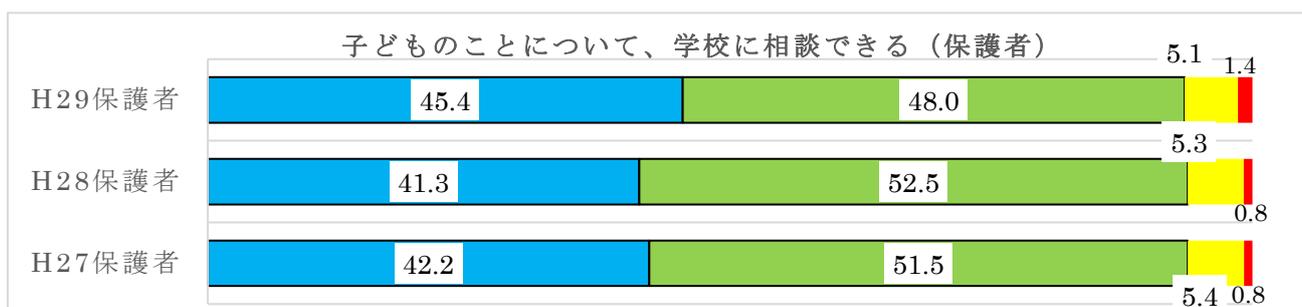
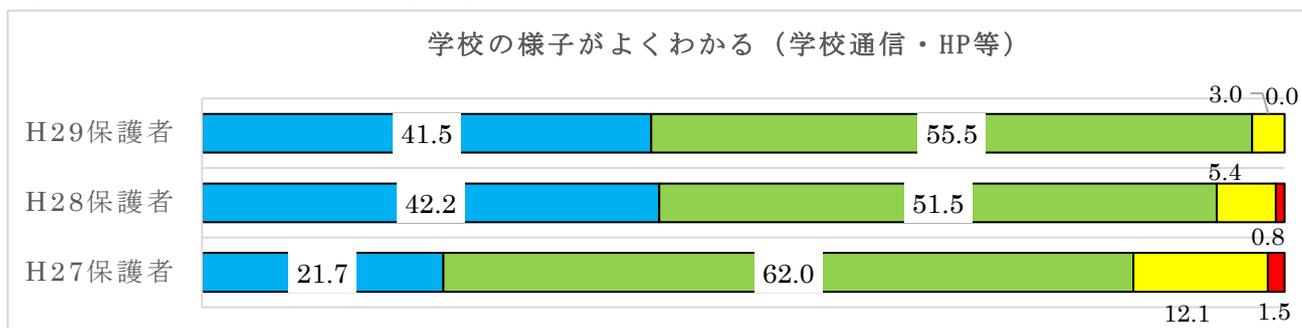
【V 安全指導・生徒指導】



児童アンケートの結果より、【11】学校のきまりについては92%、【13】社会のルールについては97%以上がAまたはBと回答しています。また、保護者アンケートの結果より、【8】社会のルールについて96%以上が概ね良好な回答を示していることが分かります。これらのことから、本校の児童は規範意識が身につけていると考えられ、これらは、今年度も朝の登校指導や地区別集会、朝会などを通し、交通マナーや学校のきまりについて指導してきた成果だと考えられます。また、それだけでなく、PTA 愛護部の活動や家庭教育も非常に重要な役割を果たしていると思われます。しかしながら、AではなくBの回答が多いことから分かるように、登下校や校内での過ごし方についてまだまだ課題はあるので、これからも継続して指導を続けていきたいと思えます。

あいさつについては、児童【10】・保護者【2】ともに昨年度と同じ程度の結果を示しています。特に児童については、AとBを合わせると85%となり、意識してあいさつに取り組もうとしている児童も多いようです。一方で、保護者の方のおよそ30%は、CまたはDと回答しており、まだまだ十分ではないと感じている方もいらっしゃるのが現状です。児童が自発的にあいさつできるよう、これからも地域・家庭と連携して取り組んでいきたいと思ひます。

【VI 地域・保護者との連携】



「様々な取り組みや行事を通して、学校・家庭・地域が連携し、子どもの教育にあたっている」の項目では、昨年度と比較すると、連携が不十分であるという意見がやや増加していました。学校として、より一層地域や保護者の方々とのかかわりを深めることができるように、活動を行っていきたく考えています。

「子どものことについて、学校に相談できる」という項目については、昨年度に比べ、Aの意見が増加している一方、Dの意見も増加しています。より相談しやすい環境づくりに来年度も努めていきます。「学校の様子がよく分かる」の項目については、肯定的な意見が9割以上であることから、今後も学校便りやホームページの充実に力を入れていきます。

学校評議員会 総括意見

【全般】

・それぞれの項目において学校の取り組みを肯定的にとらえている意見は増えているが、個々の質問における否定的な意見にも目を向け、課題解決のための具体的な取り組みを進める必要がある。

【Ⅰ 学校生活】

〔児童との相談〕

・子どもとのコミュニケーションが児童理解につながっている。今後も子どもとじっくり向き合う機会を作ることが大切である。

【Ⅱ 学習指導】

〔読書〕

・新学習指導要領実施により外国語の授業が増えるが、日本語の定着も大切である。日本語をきちんと身につけていることが、後々の外国語の学習にも結びついてくる。

・読書週間や読み聞かせ、掲示板の工夫等の地道な取り組みが成果となっている。図書購入の工夫を進め、今後も児童が図書に親しめる環境づくりに努めてほしい。

【Ⅳ 健康管理】

〔規則正しい生活〕

・「朝ごはん」や「早寝早起き」に対する児童の認識と「規則正しい生活」における保護者の肯定的意見にずれがあるように感じる。

・「朝ごはん」を毎日食べていない児童の背景には、保護者が先に出勤してしまって子どもが後から登校する家庭や、保護者自身が朝食を食べない習慣の家庭など様々なケースが考えられる。そういった家庭・保護者をどう支援していくかが今後の課題である。

【Ⅴ 安全指導・生徒指導】

〔挨拶〕

・子どもたちの意識は年々高まってきているように感じる。集団としてだけでなく個人として、自身の気持ちの揺れに左右されず、きちんと挨拶できる習慣を今後も身につけさせてほしい。

・社会のマナーやルールを守っていると考えている児童と保護者との落差は、保護者の子どもに対する期待の表れである。今後も協力して取り組んでほしい。

【Ⅵ 地域・保護者との連携】

・3年生の環境体験学習として、「虫生川の自然を守る会」と連携した取り組みがすばらしいと聞いている。今後も四季を通して虫生川での観察や体験学習の充実に努め、清和台中学校区の取り組みとして広めてほしい。

・今までの取り組みにおいても子どもたちが活躍したり教職員が工夫したりしたことはあったと思うが、それを積極的に発信することで、保護者や地域の理解が年々深まっているのではないかと。

・保護者や児童が相談しやすい体制づくり今後も継続的に必要である。できるだけ顔を合わせて懇談できるよう、努めてほしい。